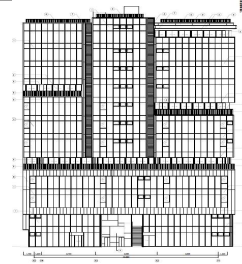


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本厚木駅前ビル計画新築工事	階数	地上12F
建設地	神奈川県厚木市中町2丁目939,940,941,942,943番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	555人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年4月13日
敷地面積	651㎡	作成者	高松建設株式会社 東京本店一級建築士事務所
建築面積	395㎡	確認日	2022年4月13日
延床面積	3,990㎡	確認者	高松建設株式会社 東京本店一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184)

②建築物の取組み 22% (46)

③上記+②以外の 22%

④上記+ 22%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
厚木市内における物販・飲食店の複合施設。可能な限り隣地と建物のスペースへ植栽を計画し景観、環境へ配慮した計画。駐車場については隔地駐車として計画し、広場のように使用することを想定している。		特に無し。
Q1 室内環境 汚染物質への対策として建物建材にF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用し室内環境へ配慮した計画。	Q2 サービス性能 バリアフリー法上の建築物移動等円滑化基準を満たす機能性向上に努めた計画。階高を高くしゆとりのある空間を提供。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー 特に無し。	LR2 資源・マテリアル ODP,GWPが低い発泡剤を使用し、汚染物質含有材料の使用を避け環境へ配慮した計画。	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出率22%とし、地球温暖化へ配慮し性能向上に努めた計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される